

令和 8 年度 第 1 回平塚市博物館協議会 次第

令和 8 年 8 月 1 8 日（火）午前 1 0 時

平塚市博物館科学教室

1 開会

- ・ 博物館協議会委員について
- ・ 会長、副会長の選任

2 議事

（1） 報告事項について

- ・ 令和 7 年度の博物館活動状況について
- ・ 令和 7 年度の刊行物販売実績について
- ・ 開館 50 周年記念特別展
「ひらはく 50 年 市民と歩む地域博物館」開催報告について
- ・ 博物館こどもフェスタ 2026 について

（2） 令和 8 年度の事業計画について

（3） その他

- ・ 事務連絡

3 閉会

以 上

・令和7年度の博物館活動状況について

博物館利用状況

月	開館 日数	総合計			一般			団体見学 等									視察等	
		大 人	こども	合計	大 人	こども	小計	市内			市外			小計			件数	人数
								数	人数		数	人数		数	人数			
									大 人	こども		大 人	こども		大 人	こども		
4	26	3,507	1,849	5,356	2,327	813	3,140	52	1,134	1,001	6	44	35	58	1,178	1,036	1	2
5	27	2,766	1,440	4,206	2,088	460	2,548	56	630	697	5	39	283	61	669	980	1	9
6	15	1,620	960	2,580	1,098	366	1,464	52	492	557	3	30	37	55	522	594	0	0
7	27	3,203	1,526	4,729	2,389	984	3,373	54	784	495	6	30	47	60	814	542	0	0
8	27	4,357	2,371	6,728	3,475	1,961	5,436	50	827	376	14	55	34	64	882	410	0	0
9	24	2,520	969	3,489	1,888	548	2,436	46	566	272	12	66	149	58	632	421	0	0
10	27	2,529	1,164	3,693	1,886	493	2,379	47	568	420	12	75	251	59	643	671	0	0
11	26	3,593	1,683	5,276	2,707	839	3,546	61	809	662	8	74	182	69	883	844	1	3
12	24	2,637	925	3,562	1,937	542	2,479	50	604	326	8	95	57	58	699	383	1	1
1	24	2,558	1,328	3,886	1,950	489	2,439	50	579	832	2	29	7	52	608	839	0	0
2	24	2,464	762	3,226	1,863	361	2,224	52	547	303	5	54	98	57	601	401	0	0
3	26	2,440	553	2,993	1,943	459	2,402	41	476	87	2	21	7	43	497	94	0	0
合計	297	34,194	15,530	49,724	25,551	8,315	33,866	611	8,016	6,028	83	612	1,187	694	8,628	7,215	4	15

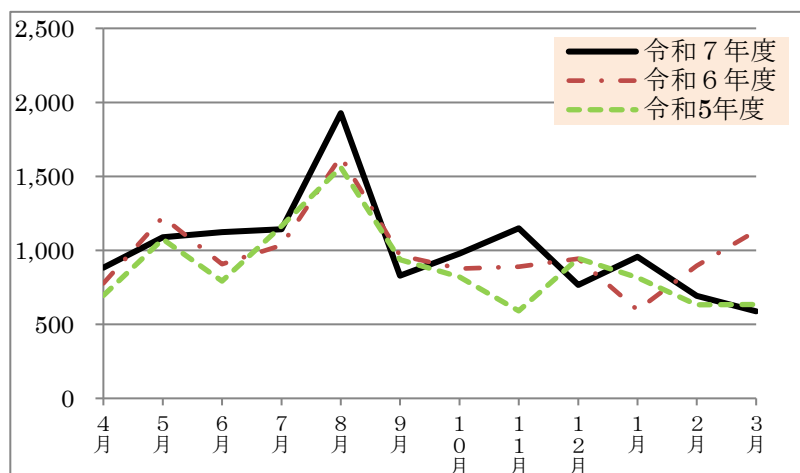
※入館者数は、館外及び野外で開催した行事の参加者も含む。

(1) 特別展事業

年度	年	時期	特別展名称	入館者数			会期合 計	年度合 計	開催 日数	子　　ども の割合	一日 平均	関連 行事	図録 売上数	
				大人	こども	合計								
	2026	春	ひらはく 50 年　市民と 歩む地域博物館	5,471	2,373	7,844	9,206	33,605	41	29.0%	181	7	146	
				1,067	295	1,362			10			1	33	
			第 25 回博物館文化祭	1,976	609	2,585	2,585		19	23.5%	136	13	—	
			丹沢で見つけたスゴい石	7,872	3,187	11,059	11,059		33,605	64	28.8%	173	7	571
			夏	湘南ロケットピア	7,001	3,815	10,816			10,816	44	35.3%	246	11
		2025	春	近代ひらつかの女性たち	5,313	2,407	7,783			9,260	42	29.7%	185	3
					R6	1,199	278	1,477						31,720

(2) プラネタリウム

月	一般向け投影				団体投影					合 計				
	大人	こども	計	投影回数	大人	こども	計	団体数	投影回数	投影回数	投影日数	大人	こども	総人数
4 月	407	154	563	18	174	145	319	6	6	24	10	583	299	882
5 月	422	194	616	20	61	411	472	17	13	33	18	483	605	1,088
6 月	416	185	601	16	60	463	523	14	10	26	13	476	648	1,124
7 月	652	355	1,007	27	14	121	135	4	4	31	16	666	476	1,142
8 月	1,164	674	1,838	40	69	20	89	3	2	42	18	1,233	694	1,927
9 月	419	166	585	18	27	216	243	8	6	24	14	446	382	828
10 月	414	148	562	18	46	371	417	15	13	31	18	460	519	979
11 月	480	171	651	21	58	441	499	16	14	35	19	538	612	1,150
12 月	343	118	461	20	43	263	306	10	10	30	15	386	381	767
1 月	481	158	639	18	26	292	318	8	8	26	14	507	450	957
2 月	279	86	365	16	114	214	328	6	6	26	14	393	300	693
3 月	400	117	517	22	56	15	71	6	5	24	10	456	132	588
合 計	5,879	2,526	8,405	254	748	2,972	3,720	112	97	352	179	6,627	5,498	12,125



	R5	R6
投影日数	171	179
投影回数	333	344
大人	5,470	6,244
こども	5,196	5,632
	10,666	11,876

(3) ワーキンググループ活動

分野	活動グループ名	活動回数	参加人数
歴史	古文書講読会	44	752
	裏打ちの会	12	102
	地域史研究ゼミ	12	71
	平塚の空襲と戦災を記録する会	18	122
考古	平塚の古代を学ぶ会	12	143
	古代生活実験室	13	155
	東国史跡踏査団	9	118
民俗	石仏を調べる会	22	184
	民俗探訪会	12	131
	祭りばやし研究会	24	270
	聞き書きの会	14	80
生物	生き物ズームプロジェクト	12	76
地質	地球科学野外ゼミ	12	501
天文	天体観察会	11	284
	天体観察会 太陽分科会	12	132
	天体観察会 プラネタリウム分科会	3	32
	天体観察会 天文学分科会	11	165
	流星観察会	6	115
総合	展示解説ボランティアの会	16	228
総計		275 回	3,661 人

(参考)

R5 297 回 3,743 人
R6 299 回 3,864 人

(4) 一般募集行事 (事前申込みまたは当日自由参加)

分野	種別	行事名称	開催回数	参加人数
歴史	講座	郷土史入門講座	6	361
	講演	平塚空襲から 80 年	1	70
考古	講座	考古学入門講座	3	102
	体験	勾玉をつくろう (カラー粘土)	1	81
	体験	ミニ土器を作ろう	1	16
	体験	古代生活体験	1	100
民俗	体験	ろばたばなし	12	143
	体験	体験学習 お飾りをつくろう	1	41
	観察	石仏めぐり	1	6
	講座	学芸員が語る相模の家の暮らし	6	46
生物	観察	自然教室	6	78
	観察	キノコの観察会	1	8
	体験	とりの手羽先骨格標本を作ろう	2	23
地質	講座	地球科学最新研究講座	1	39
	観察	相模川流域ジオツアー入門	1	26
	体験	古生物ペーパークラフトをつくろう	2	85
	体験	ナウマンゾウの歯化石のレプリカをつくろう	2	42
	体験	鉱物標本をつくろう	1	45
天文	観察	星を見る会	3	183
	体験	不思議な板で万華鏡を作ろう	2	56
	講座	全国一斉プラネタリウム 100 周年フィナーレイベント	1	57
	講座	天文学入門講座	6	225
	講座	天文×算数「惑星の楕円軌道を体験しよう」	1	16
	講座	最新天文学講座	2	88
	体験	プラネタリウム博士になろう	1	12
	体験	プラネタリウムを操作してみよう	1	11
特別展関連	講演	春期特別展プラネタリウムオペラコンサート	1	47
	講演	夏期特別展学生展示解説	2	67
	講演	夏期特別展プラネタリウム講演会	2	84
	体験	夏期特別展「水ロケットを打ち上げよう」	3	591
	講演	秋期特別展展示解説	3	54
	講演	秋期特別展記念講演会	1	112
	体験	秋期特別展「丹沢からきたガーネットを探そう」	2	112
	体験	秋期特別展「鉱物標本をつくろう」	1	27
	体験	秋期特別展「微化石標本をつくろう」	1	32
	講演	春期特別展展示解説	1	15
	体験	博物館 こどもフェスタ 2024	16	1,697
総合	講座	こども平塚学講座「はくぶつかんのとびら」	7	66
	体験	つくってあそぼう！科学のフシギ	1	123
総計 107 回 : 4,987 人 (うち子ども : 1,952 人)				

(参考) R5 82 回 2,881 人 (うち子ども : 1,072 人)
R6 102 回 4,770 人 (うち子ども : 1,928 人)

(5) 外部依頼事業

	担当	実施主体	事業種別	対象者	活動内容	年月日	参加者数
歴史	早田	平塚市役所職員課	講演	市内	新採用職員研修講師	4月3日	50
歴史	早田	旭南公民館	講演	市内	古写真で見るひらつかの歴史	6月4日	40
地質	野崎	くずはの家	講演	市外	くずはの家自然観察指導員養成講座	6月10日	26
地質	野崎	旭南公民館	講演	市内	富士噴火と災害	6月11日	20
考古	新宮	花水公民館	講座	市内	「古写真にみる平塚」～未来へ伝える地域の姿～	6月20日	20
地質	野崎	秦野市役所	講演	市外	秦野名水名人講座	6月21日	24
歴史	早田	中原・大原公民館	講演	市内	海軍火薬廠と平塚空襲	6月26日	40
天文	塚田	子育てサークルつくしんぼ	講座	市内	星空観察会	7月24日	46
天文	塚田	吉沢公民館	講座	市内	水ロケットを飛ばそう	7月25日	15
天文	塚田	吉沢公民館	講座	市内	惑星儀工作	8月5日	8
天文	塚田	公民館北ブロック	講座	市内	星空観察会	8月6日	42
天文	塚田	吉沢公民館+土屋公民館	講座	市内	プラネタリウム観覧	8月25日	50
歴史	早田	平塚中等教育学校	講座	市内	平和学習	8月25日	159
総合	野崎	日本女子大学	講演	市外	博物館見学実習対応	8月29日	12
天文	塚田	吉沢公民館	講座	市内	星空観察会	8月29日	33
天文	塚田	青少年課	講座	市内	星空観察会	8月30日	33
歴史	早田	小田原市生涯学習課	講座	市外	報徳塾	10月7日	15
地質	野崎	相模原弥栄高校	講演	市外	弥栄ワンダーラボ	10月14日	15
民俗	浜野	平塚市観光協会	講演	市内	湘南ひらつか観光フェスティバル2025 講演「大山と平塚」	10月18日	30
歴史	早田	神奈川県博物館協会	講演	市内	時を越えた多様な主体との連携ー春期特別展「近代ひらつかの女性たち」から	10月30日	50
地質	野崎	神奈川地学会	講演	市外	「平塚市博物館秋期特別展展示解説および講演会」	11月6日	29
地質	野崎	秦野市役所	講演	市外	名水サミット in はだの	11月8日	505
総合	浜野	神奈川大学理学部学芸員養成課程	講義	市内	博物館資料論講話	11月8日	17
地質	野崎	かわさき宙と緑の科学館	講座	市外	サイエンス教室「多摩川の自然～石～」	11月9日	21
天文	澤村	湘南福祉センター	講師	市外	星空観望会	11月27日	15
天文	塚田	公民館西ブロック	講座	市内	星空観察会	11月28日	58
生物	松本	八幡小学校	講義	市内	総合学習	1月16日	33
天文	塚田	吉沢公民館	講座	市内	星空観察会	1月23日	25
天文	塚田	青少年課	講座	市内	星空観察会	1月31日	38
天文	藤井	崇善小学校 父の会	講座	市内	星を見る会	2月14日	63
考古	新宮	大野公民館	講演	市内	遺跡と古写真から見る真土地区	2月26日	23
生物	松本	八幡小学校	講義	市内	総合学習	3月6日	32
地質	野崎	須賀公民館	講座	市内	古生物ペーパークラフトづくり	3月22日	17
地質	野崎	平塚防災まちづくりの会	講座	市外	地震火山地質こども春休み探検隊	3月29日	26

・令和7年度の刊行物販売実績について
年度別売上一覧

		冊数	金額		
H24年度	2012	2,302	1,762,570		
H25年度	2013	3,290	2,372,230		
H26年度	2014	2,491	1,623,080		
H27年度	2015	2,411	1,623,890		
H28年度	2016	2,077	1,416,420		
H29年度	2017	1,865	1,120,260		
H30年度	2018	1,196	661,710	天井崩落休館	
R1年度	2019	2,282	1,223,750		
R2年度	2020	1,285	732,090	コロナ休館	
R3年度	2021	2,116	1,211,400		
R4年度	2022	1,830	986,520		
R5年度	2023	1,883	1,140,820		
R6年度	2024	2,067	1,230,440		
R7年度	2025	4,275	1,627,650	前年比(冊数)	2.07
				前年比(金額)	1.32

令和7年度(2025)刊行物売上BEST50

刊行物名	R7冊数	R6冊数	前年比		R7売上	R6売上	R7価格	R6価格
丹沢でみつけたすごい石	616	R7年度秋期特別展			308000		500	
近代ひらつかの女性たち	271	82	3.3		162600	49200	600	600
ゼロからの湘南地学入門	237	126	1.9		118500	63000	500	500
湘南ロケットピア	115	R7年度夏季特別展			57500		500	
平塚市史 年表 第1版	112	R7.4/1販売開始			28000		250	
平塚周辺の地盤と活断層	105	35	3.0	R8.1完売	21000	35000	200	1000
平塚の古道を行く	98	473	0.2		58800	283800	600	600
平塚周辺の地盤図	98	47	2.1		9800	14100	100	300
平塚空襲 その時、それまで、それから	97	52	1.9		48500	26000	500	500
賢治がみつめた石と星	79	48	1.6		39500	24000	500	500
検証 相模国府	74	27	2.7		7400	10800	100	400
ガイド18 平塚の戦争遺跡	46	9	5.1		9200	7650	200	850
炎の証言 第23号	46	67	0.7		11500	16750	250	250
ガイド22 地学ハイクへの誘い	44	6	7.3		8800	5100	200	850
野鳥愛	43	45	1.0		21500	22500	500	500
星の地図・星の住所	42	24	1.8		12600	25200	300	1050
くらしの今昔	40	4	10.0		8000	4000	200	1000
真田・北金目遺跡群	40	10	4.0		8000	7000	200	700
わたしの植物図鑑ー加藤あきさんのス	39	6	6.5		11700	9000	300	1500
星々のみちびき〜大雄山参道二十八	39	7	5.6		7800	5950	200	850
ガイド20 石材ウォッチング 街の中の石	36	6	6.0		7200	6000	200	1000
五領ヶ台貝塚ものがたり	36	8	4.5		3600	4000	100	500
天象儀 100年の軌跡	36	63	0.6		25200	44100	700	700
平塚の仏像	33	16	2.1		3300	8000	100	500
幕末の村おこし	33	7	4.7		9900	7700	300	1100
ひらはく50年	33	R7年度春期特別展			19800		600	
ガイド14 野鳥の観察	31	3	10.3		6200	2700	200	900
平塚西部丘陵自然観察マップ	31	12	2.6		3100	4800	100	400
41 セミのぬけがら調べ	30	1	30.0		6000	900	200	900
里に降りた星たち	28	8	3.5		5600	8000	200	1000
ガイド15 漂着物図鑑	27	2	13.5		5400	1500	200	750
ガイド17 平塚の遺跡	27	3	9.0		5400	2550	200	850
掘り起こされた平塚Ⅲ	27	5	5.4		5400	5000	200	1000
天の川銀河へようこそ	27	12	2.3		5400	11400	200	950
平塚市民が探る平塚空襲(証言編)	27	0	27.0	R7.7完売	8100	0	300	2300
聞き書き集 記憶をつないで 第4集	27	5	5.4		4050	750	150	150
聞き書き集 記憶をつないで 第2集	26	4	6.5		5200	800	200	200
平塚市史 第10巻	26	0	26.0		26000	0	1000	6000
掘り起こされた平塚Ⅳ	24	18	1.3		12000	9000	500	500
お家をまわる子育て地蔵	23	250	0.1		13800	150000	600	600
平塚市史 第9巻	23	1	23.0		23000	5600	1000	5600
ひらはく50年 クリアファイル	23	R8.3/20販売開始			4600		200	
農家の四季	22	11	2.0		4400	7150	200	650
水と生きる里-金目の風土とその魅力	22	8	2.8		4400	8000	200	1000
ガイド23 銀河系の天体たち	21	8	2.6		4200	7200	200	900
火星大接近 2003	21	0	21.0		6300	0	300	1200
ひらつかの村絵図を読む	21	24	0.9		10500	12000	500	500
コケ観察ブック	21	2	10.5		1050	100	50	50
聞き書き集 記憶をつないで 第3集	21	4	5.3		6300	1200	300	300
掘り起こされた平塚Ⅱ	20	2	10.0		4000	1460	200	730

1～50位 10年以上経ったもの 31冊 前年比平均
1～50位 10年経たないもの(価格変わらず) 14冊 前年比平均
1～50位 令和7年度発売のもの 5冊

8.6倍 1.8倍～30倍
2.2倍 0.1倍～6.5倍

開館 50 周年記念（令和 7(2025) 年度春期）特別展 「ひらはく 50 年 市民と歩む地域博物館」開催報告

会 期 2026(令和 8)年 3 月 20 日(金) ～5 月 17 日(日)

(開催期間:51 日)

休館日:月曜日(5 月 4 日は開館)、5 月 7 日(木)

主 旨 2026(令和 8)年 5 月 1 日に当館が開館 50 周年を迎えるのを機に、市民と歩んできた当館の歴史を振り返るとともに、博物館が持つ使命と機能の観点から当館が地域に対して担ってきた役割を考えた。

展示構成 第 1 章 博物館とは何か／第 2 章 集め調べる／第 3 章 守り遺す／第 4 章 伝える／第 5 章 平塚市博物館の歩み

入 館 者	入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1 日
	大人	こども	合計			
3 月	1,067	295	1,362	10	21.7%	136
4 月	3,609	1,797	5,406	26	33.2%	208
5 月	1,862	576	2,438	15	23.6%	163
期間計	6,358	2,668	9,206	51	29.0%	181

(参 考)	R7 秋	7,872	3,187	11,059	64	28.8%	173
	R7 夏	7,001	3,815	10,816	44	35.3%	246
	R6 春	6,512	2,748	9,260	50	29.7%	185
	R6 秋	5,972	2,398	8,370	56	28.6%	149
	R6 夏	6,017	3,543	9,560	40	37.1%	239
	R5 春	7,294	3,148	10,442	53	30.1%	197

関連行事 自由参加行事

- ・特別展示解説： ① 3 月 22 日(日) 参加:大人 15 人
② 4 月 11 日(土) 参加:大人 13 人
③ 5 月 10 日(日) 参加:大人 10 人
- ・記念講演会「平塚市博物館 50 年の歩み」:
5 月 2 日(土) 参加:大人 71 人
講師:浜野達也(当館館長)
- ・記念講演会「地域博物館の役割とこれから」:

5月3日(日) 参加:大人 51 人

講師:浜田弘明 氏(桜美林大学リベラルアーツ学群教授)

印刷物 図録

「ひらはく 50 年 市民と歩む地域博物館」

A4判 112頁 カラー 1,000 部 頒布価格 ¥600

開催期間内頒布部数:179 部

(参考)R6 秋:235 部、6 春:306 部、R7 夏:90 部、R7 秋:571 部

ポスター B2 判/B3 判 カラー 150 部/250 部

リーフレット A4 判 カラー 5,000 部

担当者評価

本特別展は、博物館の機能・役割に焦点を当てた展示であった。そのため、資料そのものを見てもらうというよりは、資料を媒介に博物館学的な内容を伝えることに主眼を置いていたため、実物資料に比して解説パネルや写真パネルが多くなってしまい、テーマ・内容ともに来館者の関心を誘わず、“内輪”で盛り上がるだけになってしまう懸念があった。が、幸い(他の特別展に比べれば少ないかもしれないが)多くの来館者に好評で、我々が伝えたいと思っていたことを汲み取ってくれた来館者が多いのではないかと思う。博物館が存続するためには、博物館の何たるかを我々はもっと発信しなければならず、そのきっかけにもなったのではないだろうか。

アンケート結果集計

回収枚数 45 枚

回答者の住所 平塚市内 27 人、平塚市外神奈川県10人、神奈川県外関東地方5人、関東以外
(n=45) 3 人、海外 0 人

回答者性別 男31人、女15人
(n=46) ※複数回答者あり

回答者年齢	～19 歳	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上
(n=44)	6人	4 人	4 人	2 人	9 人	4 人	6 人

情報の入手先 広報ひらつか 16 人、博物館のホームページ 9 人、あなたと博物館 5 人、
(複数回答可) SNS 7 人、新聞等 3 人、ポスター 8 人、口コミ 2 人、その他 8 人

(n=58)

おもしろさ 興味ぶかさ (n=46)	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
	27	11	6	2	0
	58.7%	23.9%	13.0%	4.3%	0.0%

難し しさ (n=46)	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
	24	12	6	4	0
	52.2%	26.1%	13.0%	8.7%	0.0%

総合評価 (n=46)	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	29	10	5	2	0
	63.0%	21.7%	10.9%	4.3%	0.0%

ご意見・ご感想(原文ママ)

- ・博物館にあるモノではなく、博物館そのものと中で働いている人(学芸員)に着目している点が興味深かった。(20代/男性/関東以外)
- ・地域博物館とは何か網羅的に見ることができ、とても勉強になりました。(30代/男性/市外県内)
- ・50年の歩みをなつかしく思い返しながら楽しみました。「そも、博物館」とは何ものなのか、博物館法をひもときながら、解り易く解説されている為、理解し易かったし、良き学びとなりました。(80代以上/女性/市内)
- ・調査研究・整理の大変さが理解できた。(60代/男性/市内)
- ・50年のポスター50枚を小冊子にしてほしい。(80代以上/男性/市内)
- ・博物館 50年の歴史に加え、博物館の活動、学芸員の仕事内容までよく分かりました。(40代/男性/市内)
- ・まずは 50 周年おめでとうございます！！博物館が自分のこと(仕事、歩み etc...)を語っているような内容で面白い。近年、開館～周年の記念展を行っている館もあるが、もっとぎっくりな内容も多い。博物館を知ってもらうことから始めてつみかさねた実績を示しており、全体として何か迫力があるなあと感じた。展示だけじゃないぞ！という強い意志やよし！あっぱれ！それにしても、考古、歴史、民俗、自然も天文、生物、地質って、いや大変ですねえ。まったく。美術以外の平塚のことなら全部やりますってことだろうか？まったくおつかれさまです。そして、さりげなくだが、収蔵のむずかしさや常設の展示更新が出来ていないこと等ふれているのもよい。～周年記念展はいくつかみましたが、そういうネガティブなところまであんまりふみこんでくれないのですよね。こういうことこそ伝えるべきもの。以下気づいたこと等
①なぜここは無料なのか？先日埼玉の某館で 400 円であったが、そのくらい、いやもっと取ってもよいが、なぜかを説明してもよかったのではないかな？今後も含めてどうするか etc... ②いろいろな団体の全体像が見えない。個別の活動は説明があるが、全体でいくつあって、それぞれはいつから、何人い

て、どんなペースでとか。協力してくれる人たちでもあるから、きちんと示すべきでは？ ③博物館の運営についても何かほしかったところ。組織図、人員、予算 etc... の変遷。ムズカシイ？ ④例えば年間入場者数の変せんとか。何か足りないなと思ったら、見学についてが、はっきりしないということであった。さらに学校教育とのかかわりは、改めてしっかり示しておくべきでは？おそらく市民で平塚育ちの方々は1回は学校で来られたのだろうし、さらには展示への参加(ミニ文化祭?)とかも、4章だともれているので分けてアピールした方がよかったと思う。私たち役立ってます！って。とはいえ全体として良い出来だと思います。今日はこれが見ただけでも良い一日です。パチパチ(60代/男性/県外関東地方)

・私が7才の時に開館して一時期はよく見に来ました。やはり、当時より自身の知識量が多く理解できる内容が増えておもしろかったです。(50代/男性/市内)

・みごたえのある良い展示でした。地域に博物館があることの意味がよく伝わりました。(50代/男性/関東以外)

・学生時代、「地域博物館」というテーマで平塚市博物館についてレポートを書いた経験もあって、「50年」の振り返りができるこちらの企画展を楽しみにしておりました。大変ボリュームがあり、見ごたえもあってとても面白かったです。改めて常設展示も見直したいと思いました。例年の特別展示と比べて、どうしてもテーマとしての吸引力が弱くなってしまうのが残念ですが、沢山の市民や博物館関係者に見ていただきたい素晴らしい展示でした。担当学芸員様、準備した方々、協力の研究グループの方々、ありがとうございました。これからも頑張ってください！(30代/女性/市内)

・この4月から社会人になった息子が幼稚園の頃から、たびたび一緒に訪れており(息子は澤村さんのプラネタリウム解説が大好きでした)、平塚空襲、平塚学入門、賢治が見つめた石と星、標本で！植物観察、近代ひらつかの女性たちなど、今も図録を大切にしています。改めて、市民にとって大切な博物館だと思いました。(50代/女性/市内)

・多くの資料の収集大変でしたね。(80代以上/男性/市内)

・保存方法は大変なことと思いますが、一般の家庭では捨てられる物でも取っておく事は次の世代に伝える為には大切ですね、頑張ってください。(80代以上/女性/市外県内)

・過去にかいさいしていたイベントの中で、ぜひみたいというものがたくさんあった。(50代/女性/市外県内)

・平塚に来て25年、博物館の歴史を半分だけ知っています。(60代/男性・女性/市内)

・創立当時からお世話になりました。浜口先生！ありがとうございます。(80代以上/女性/-)

・50年の歴史と重みとすごみにあふれていました。ありがとうございます。(50代/男性/市外県内)

・50周年おめでとうございます。これからの活動が楽しみです。(70代/男性/市外県内)

・歴史学べておもしろかったです。(高校生/男性/市内)

・「地域博物館」の代表例として、その概念や議論に触れてほしかった(伊藤寿朗など)。(20代/男性/県外関東地方)

・多くの分野を持ち、かつ市民と協働して活動している博物館の取組を初めて知りました。これからも続けていただければ嬉しいです。(50代/男性/県外関東地方)

- ・地味ですが、良いと思います。時の流れで変化した部分は更新する必要があるかと思います。(60 代/男性/市内)
- ・高校時代に開館した博物館を定年後に再度訪問するのは感慨深いものです。(60 代/男性/市内)
- ・なつかしさと新鮮さが交わる楽しい展示、ありがとうございます。(50 代/男性/市内)
- ・博物館の活動の価値、地域住民との連携を行って、教育的な側面もあるのかなと感じた。(20 代/男性/市内))
- ・開館 50 周年おめでとうございます。毎回、新しい発見と知識が得られる場としてこれからも地域に根ざした活動を期待しています。(40 代/男性/市内)
- ・クンジョウなどショウカイしてくれるは、ありがたいが、どんな虫が出るのか見せてもらいたい。(30 代/男性/市内)
- ・いろいろなてんじしてきた物があってとてもおもしろかった。(高校生/女性/市内)
- ・とてもよかった。ぼくは古い物が好きなのでメンゴとかネガフィルムとか電気がまとかいいと思った。あとそこをみて、物がすてられないぼくならこのしごとむいてるかなーと思った。(小学生/男性/市内)
- ・博物館のバックヤードをのぞいた感じがしれた、大変な仕事の一端を知りました。(80 代以上/男性/市内)

当館に期待すること

- ・若者を初め、市民の関心の意欲を引き出しながら、共に学び、資料収集、保存が進んでゆく博物館であり続けて下さい。これまでの学芸員の努力、そして 50 年記念展に感謝します。ありがとう！！(80 代以上/女性/市内)
- ・先日、厚木郷土博物館を見学したが、理想としてはあのような常設展示があると教育的にも良いのではないかと思った。(60 代/男性/市内)
- ・プラネタリウムを土日に限らず平日も行ってほしい。(月に何回かでも)(老人のために)(80 代以上/男性/市内)
- ・休ケイのイスがほしい。(70 代/男性/市内)
- ・私も子どもの頃、浜口先生の講座(?)で海へ行ったり、五領ヶ台へ行ったりしたことで博物館や歴史に興味を持ちました。展示品の中にも何となく記憶にあるものがあり懐しかったです。月日は流れ、現在、私も都内の博物館で学芸員として勤務していますが、これからも一市民として展示や活動楽しみにしています。(40 代/男性/市内)
- ・①この建物ねえ、どうなのでしょう。昭 40~50 年代の建物って案外とじょうぶなのかと思いつつも、やはり古くもあり。はてどうするのやら。②工場もけっこうあるところなのに、ロケット以外の産業や交通についての特別展がないのが意外。ぜひご検討を。「平塚の鉄道」とか集客期待できるし、戦時中のききとりとかからわかること等ないですかねえ。(60 代/男性/県外関東地方)
- ・昔からの展示物に再会できてうれしかったです。あと最近の発掘のレポート等があれば見たかったです(南真土の道路工事現場のレポートなど)。(50 代/男性/市内)
- ・民俗と天文のくみあわせなど、ユニークな組み合わせや、市民参加活動の成果がいまでも面白く、今

後も期待しています。(50 代/男性/関東以外)

・保管スペースや施設老朽化等、課題が山積みかと思いますが、ぜひとも貴館が受け継いできた「博物館の役割」を続けていって欲しいと思います。今回の展示を通して、改めて学芸員の皆さまのお仕事の大変さや尊さを感じました(しっかりお休みをとれているとよいのですが)。(30 代/女性/市内)

・市の海岸開発による海岸林伐採、県の養浜失敗とそのやり直しによる砂浜の断崖化、ハマヒルガオ群落(龍城ヶ丘、袖ヶ浜側)の破壊など、海岸の自然環境悪化が心配です。博物館の記録にはなかったようですが、住民の目撃情報やえのすいの記録から、2020 年と 25 年に相模湾でアカウミガメの産卵が、22 年に上陸記録があったことがわかっており、地元の海岸にも注意を向けて頂けると助かります。(50 代/女性/市内)

・市民との交流を大切に。(80 代以上/男性/市内)

・もっと若ければ体験コーナー(ぞうり作り たこ作 etc.)に出席したいです。今後に期待します。(70 代/女性/市外県内)

・先人がつくった、すばらしいものを、古いということでもかたづけず、その知恵や思いを今の私たちの暮らしや生き方に生かせるようなヒントをもらいたい。(50 代/女性/市外県内)

・夫婦共にどうにも考古(縄文・弥生・古墳時代)が大好きな為展覧会回開催を期待してしまいます。講座も沢山開いて欲しいと思います。(60 代/男性・女性/市内)

・平塚出身の著名人に関する企画展示とかどうでしょうか。(50 代/男性/市外県内)

・ジャンルにとらわれない種々の展示を期待します。(70 代/男性/市外県内)

・自習室ほしいです。高校生向け勉強会開いてほしいです。(高校生/男性/市内)

・子どもたちが学校行事などで来館するとき、かならず学芸員さんが出てきてほしい。学芸員という仕事を広く伝えるためにも。(20 代/男性/県外関東地方)

・正直、図書館ほど身近でもなく、美術館の様な華やかさありません。プラネтариウムの様な分かり易い展示の拡充を希望します。(60 代/男性/市内)

・あと 10 年経つと、戦争を知る世代はほぼ居なくなります。いかに記録を残していくか、難しい課題ですが… 博物館の役割の一つとして、今後も活動くださればと思います。(50 代/男性/市内)

・みんなが楽しめる博物館になってほしいです。(小学生/女性/県外関東地方)

・平塚市を代表する施設として、中長期的な視点から新館建築を是非目指して下さい！！(40 代/男性/市内)

・これからもアーカイブ(各種)作りをお願いします！古いことを知りたいと思ったら博物館へとなりますように。(60 代/男性/市内)

・たん水の生物のとくべつてんとかやってほしいです。(小学生/男性/市内)

記念講演会「平塚市博物館50年の歩み」当館館長(5月2日)

アンケートの結果

回 収 枚 数 51 枚

回答者の住所 平塚市内 32 人、県内平塚市外 11 人、神奈川県外関東地方 8 人、関東地方以外 0 人
(n=51)

回 答 者 性 別 男 35 名、女 15 名、無回答 1 名
(n=51)

回 答 者 年 齢	～19 歳	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以 上
(n=51)	2 名	3 名	0 名	8 名	9 名	9 名	13 名	7 名

問 今までで、とくに印象に残る博物館の展示や行事、プラネタリウム番組などがありましたら思い出をお書きください。

- ・昭和 61 年度の大学 4 年次に於ける博物館実習のカリキュラムを受講する際に常設展を見学させていただきました。考古学専攻でしたので 2 階の展示資料や館内の設備等を中心にレポートを作成し、大学へ提出させていただき、当時の学芸員の方々に質問に対するご教示をいただいた貴重な学習体験を有意義な時間として過ごすことが可能でした。
- ・お祭りの展示、にぎやかで関係者？の人もたくさん居て楽しそうにしてお互いにコミュニケーションをとったりしていたのが、印象深いです。色々まわってみたくまりました。
- ・平塚空襲の展示わかりやすく当時の状況がまとめられていて、とても良かったです。お祭りの展示 おはやし 丁寧に教えてくれて楽しかったです。望遠鏡等の工作の行事、実際に使える物を自分の手で作れて楽しかったです。
- ・アクアマリンのコンサート、特別展示に関連して記念シンポジウム、火球の映像、活断層の展示
- ・市外(県内や他県)まで視野が広がるような行事(シンポジウム・講演・講座・見学活動)、アクアマリンのコンサート
- ・鎌倉殿と平塚の 7 人
- ・相模川の生いたちを探る会に参加し大変勉強になった。
- ・野鳥愛、石仏関係、地層・断層関係、平塚空襲関係、ビーチコーミング関係
- ・「20 周年記念特別展」パソコン展示をさせていただきました。自分でも良く出来たと思います。「天の川銀河へようこそ」も

- ・民俗探訪会の課外活動で真鶴～三崎迄漁業の調査が特に印象に残っています
- ・鎌倉殿と平塚の 7 人
- ・女の子と男の子のおひなさま
- ・特別展はよく見に来る、本も安くて時々買う(宮沢・平塚学など)
- ・他県より来て平塚の地形など興味深かった、時代の中で平塚の役割、江戸との繋がりのお話など、昔の人々の暮らしがわかる写真など
- ・今まで 20～25 年程しか来ていませんが、各月のパンフレットを見た時に行っていました。どれも印象深く、優秀な良いものでしたので又、次に出かけようと思うばかりです。
- ・ナウマン像の化石のレプリカを制作
- ・漂着物を展示するという目線はとても興味を持ちました
- ・今回の特別展は「市民と共に歩む地域博物館」のトップランナーとして知られた平塚市博を辿ることのできるまたとない企画でした
- ・大学院(博物館学専攻)の修論調査で古文書解説会の意識・運営課題調査をさせて頂き、会員の皆様といろいろお話させて頂いた。
- ・プラネタリウムとクラシック音楽のコラボ
- ・「野鳥愛」「平塚学講座」
- ・プラネタリウムの今日の夜空が好きです。行った日はなるべく空を見て星を見つけています。夏の平塚空襲の展示に毎年母が連れて行ってくれていて、平和について考えるきっかけになっています。学芸員の方が学校にいらっしゃって縄文土器を作ったのがすごく印象に残っています。
- ・宇宙ロケット開発に関する展示
- ・展示:「びっくりはてな」普段、常設展では見られない収蔵品を見られて楽しかったです。文化祭 どこのWG でしたか昔の線路(D52 が運ばれたルートがわかってイメージがわかりました)を調べた展示が興味深かったです。プラネ:ハヤブサの帰還(涙なくして見られませんでした)、銀河鉄道 色彩の美しさが幻想的でした。空襲の聞き取りを市内地図におとしこんだものは如何に広範囲に投下されたかとてもわかり易く拝見しました。
- ・最近の展示で「野尻抱影」展が印象に残っています。特に野尻氏の屈折経緯台を見ることができたのは嬉しかったです。
- ・野鳥愛のイベントパンフ図録はとても大切にしています。
- ・宇宙の星に関する講座、郷土史の講座、近代女性の特別展、講座に関しては専門家の話を理解し易く説明していただける。
- ・平塚の道、平塚の祭
- ・地質調査ワーキングに参加できて、この地域の成立が少しずつわかるようになった。自然観察会にも何回か参加し、名もない草花のことや、鳥のことも勉強でき、我々人間も同じように自然の中で生きているのを実感できた。
- ・プラネタリウム「銀河鉄道の夜」
- ・相模川を歩く会、相模国府、丹沢でみつけたスゴい石

- ・公募写真展、平塚のまつり、相模国府とその世界
- ・お家をまわる子育て地蔵
- ・レンズが見た平塚は写真の収集やアーカイブの勉強になりました
- ・私自身は、2000 年代の頃に、浜口学芸員、澤村学芸員に大変お世話になり、貴館の活動に参加しておりました当時の企画は何かまだわかっていない「もの」や「こと」をみんなで調べていく活動を大切にしていたものが多く、そうした機会に参加できたことは現在の私にとっても大きな財産になっています。またアクアマリンのコンサートをまだ無知時代でしたが、しばしば行われており、気軽に参加していたことが思い出されます。
- ・平塚空襲、平塚の古道に行く
- ・全てが、いつもが新しい発見です！！
- ・縄文人の展示(子どもの頃のお気に入りでした)、相州だるま、平塚のお祭り
- ・「わた博」の冊子を購入して改めて地域博物館の意義に気づかされました。平塚の空襲を継続して発信していることを年報で読めることがすばらしい
- ・今回の特別展(3 月の初訪問時に拝見)、2F の「川から海へ」→市民との共同ワークによる成果が展示されているのがすばらしいです。
- ・平塚に転入して 3 年目になりました。地域博物館の先駆として感銘を受けています。「館長の民俗学入門」が印象的でした。新たに平塚市民になった私としては、「平塚学講座」に是非参加したいと思います。
- ・石仏の展示がこだわりを感じられて、感激しました。

問 これからの博物館へ期待することをお書きください。

- ・本日建物への老朽化が現在の課題として揚げられておりましたが私事で恐縮ですが、現在個人的には藤沢市在住者からの立場からですと現藤沢市には博物館と呼べるべき公共施設は存在しません。これから先平塚博物館におきましては多々課題も抱えられることと想定されると考えられます。クラウドファンディング等も考慮され、出来ることでありましたら、老朽化への対策も考慮されることを望みたい次第です。
- ・子どもころ、タンポポとセミの抜け殻の話をさせていただいてから、学校のクラス内で自然観察や収集が流行しその後の進路に影響を受けた子どもも多数いました。知識欲を刺激するような展示と博物館自体をもっと PR してたくさんの人に利用してもらいたいです。小学生の授業以外にももっと個人的に利用する人が増えて欲しいです。国立とちがって地域博物館であることのメリットを生かして欲しい。最近は学校の先生も博物館を利用しない人が増えていて残念です。昔は他市の学校も利用することが多かったと思いますし、先生に質問をすると平博に行けと紹介されることが多かったです。平博の理念はすばらしいと思います。
- ・私は模型や剥製の展示を見ることが好きなので、是非いろんなものの模型や剥製の展示を増やしてほしいです。小さい子どもは文章よりも実物などビジュアルメインの方がわかりやすく楽しめると思います。小さい子どもからお年寄りの方まで誰もが利用したくなるような博物館でい続けてほしいです。

- ・市民参加型の博物館を目ざしているとの主旨等がいい。我家のない史料を何編か取り上げていただき(自然と文化)ました。価値のあるものと思われるかどうか迷いましたが掲載していただいて持ち主としては大変はげみになりました。ありがとうございました。
- ・プラネタリウムの充実、夜間の講座を再開していただきたい。特別展の時間延長、ワーキンググループの継続、エレベータの設置、学芸員の講演を続けていただきたい。1階の展示のリニューアル、今後リニューアルで閉館の場合も他の機関(公民館)等で展示、学芸員の講演会などを開催していただきたい。
- ・収蔵資料のデジタルデータ化、「かんまん不動」の全方位から拝することができるような展示(市内仏像・神像土屋宗遠像など展として)をぜひ！
- ・館内がすごく暗いのもっと明るく。デジタルを使用したわかりやすい展示内容にして欲しい。また建物が古いので建て直してほしい
- ・小・中学校等教育機関との連携、もともと虫好きでしたが、浜口哲一先生の自然観察会に参加してから博物館に足繁く通うようになりました。今日の講演を拝聴していても浜口先生の足跡の偉大さを感じました。浜口先生の「地域博物館へようこそ」(だったと思います)を読みました。開館するまでの様子が記されていて今日の講演と合わせて感慨深いものがあります。
- ・講演の最後に話されたこちらの設立当時の学芸員さん？の話についておっしゃったことは今どこの市町村でもある「歴史民俗資料館」ではないかな？決して高価・価値の高いものではないものをたくさん集めて、集めるだけではただの資料収集館になってしまう。集めるだけではなく”どう活かすか”が目に見えてわかる博物館(資料収集館ではなく)を期待します。
- ・いずれ撮りためたビデオ、字幕付け有無モザイク有無で寄贈させていただきたいと思っています。
- ・博物館のサークル活動に10年以上かかわってきましたが、こんなに広範囲で多彩な活動を展開してきたのかと改めて分かりました。今後も広い範囲で活動を期待します。
- ・是非、令和時代の新たな「地域博物館」のモデル像を確立して欲しい
- ・祭りばやし研に参加している、市内の考古学や神社などの博物館各サークルの人達の説明で博物館主催で見学会やってほしい。
- ・貯蔵スペースが無いということが全国的になっていますが、家の取りこわし、片づけにおいて処分してしまっていない物かどうか。実際、家の物、受けとって頂き、ありがたく思っています。今日のお話で地域博物館の理念、活動の内容(展示の裏側)のことを知らされ、大変なお仕事だと。
- ・これからも大人向け、子供向け両方の展示、行事はたいへんと思いますが、私達一般も一生懸命付いていきたいと思っています。
- ・まだまだ平塚市の歴史を知らないなので教えてほしい
- ・市民との距離、地域社会とのつながりを維持していただければと思います。全国の博物館関係者が注目しています。
- ・市民調査団体会員の高齢化に伴う次世代の循環的な育成をそのつど検討し、永劫に残る活動になるよう期待しています。
- ・文化祭、ワーキンググループ活動の益々の活性化を期待致します。

- ・全国的にすばらしい地域博物館なのでこれからも長く続けていただきたい。平塚市民で良かったです。
- ・なくならずに、ずっと地域にあってほしいです。もし、また機会がございましたら宮沢賢治の展示や旧町村についての展示が見てみたいです。もっと広い博物館が建てられるよう応援しています。
- ・2階3階の利用者(希望者)絶えず来館されるが高齢者にはあきらめられるケースが多発、来館者の不満解消のためエレベーターの設置が望ましい。
- ・”難しい””わからない”というイメージを少しでも払拭していける施設だと思っています。(展示や展ボラさんの活動)小さいお子さん達には少しでも楽しいと思ってもらえる展示(今も既に楽しんでおられます)と同時に館での過ごし方(走らない、大声を出さない等)を学べる機会も引き続き提供していただきたいと思います。見て(お子さんの身長だと見えにくい展示は将来的には展示寄りに台を設置していただけたらと思います。1階の地模型・平塚の宿でできれば車いすの方も見え易い展示)・触って(ボタン点灯やタッチパネル、レプリカでも良いので実際に手で触れる資料の展示。(目に不自由な方にも対応)・聞いて(イヤホンガイド等、QRコード(耳の不自由な方にも対応)一人でも数人でも過ごせる展示。
- ・人文、自然両分野にわたる地域博物館として50年間の成果を踏まえて次の50年に期待したい。
- ・虐待・イジメや仲間はずれ、孤立や断絶を救える博物館を期待しています。誠におめでとう御座います。
- ・特別展や講座は是非続けて下さい。子どもに対しての説明や実習は大事だと思います。平塚の博物館はこの近辺と比べて早い時期から本格的な活発な活動をしてこられたと感謝しています。
- ・これからも地域博物館として頑張ってください。
- ・引き続き、現場中心とし、市民を巻き込んだ形で活動を続けてほしい。国県の博物館がある中で、市の博物館は大変貴重だ。地域に密着した施設として、地質、自然関係の調査研究を進めて社会に役立ててほしい。最後の課題でも触れられてたが自らが調べたこと、行事の参加者が感じた感想、記録というものを動画の形でデジタルで寄稿できるようにしてはどうでしょうか。そして、それをホームページの中で「博物館 You tube」として公開できるようにならないでしょうか。これが新しい教育普及ではないでしょうか。
- ・今後も地域博物館としての活動を続け、50年後も市民に愛される場所であってほしい。
- ・平塚の歴史・文化・自然を蓄積する博物館の取組に益々興味を持ちました。町の愛着や誇りはどれだけその町の歴史・文化を知っていて大切にできるかだと思います。子どもたちから高齢の方まで様々な情報ツールや講座などの取組によりさらに歴史・文化を発信する拠点として博物館が地域・町の資産としての将来にわたって、市民の幸せにつながる施設とありつづけることに期待します。
- ・これまで展示されて来た内容の見直しして、再展示して欲しい。
- ・平塚に住んで60年家庭をもって55年まさに博物館の歩みとリンクし、平塚学も受講したり、ワーキンググループに参加したりして人生を豊かにする一助と成っています。これからも博物館活動に期待します(どの様な事でも)

- ・総合博物館があることが、平塚市の「売り」になるので、総合公園とともに末永く継続して存続してほしい。40 年位前に群馬県の知人が来た時は一地方都市で総合博物館がある事におどろいて「平塚は文化都市だ」と話していた事もありました。競輪場のイメージを吹きとばす「文化都市」になってほしいと思います。特別展毎に図録を作成することは大変な事です。感謝します。要望：講堂で講演があった時に、用事で参加できない事があるので、博物館のホームページで講演で配布した資料が見られるようにしてほしい。
- ・昨今「稼げる博物館」への意識付ける博物館をとりまく状況が日々変容していっているように感じます。そのような中でも地域研究の大切な拠点として、平塚市博物館に限らず博物館全体が続いていくことを望みます。
- ・市民参加の地域博物館のモデルとして今後がんばってください。
- ・今からでも可能なことと思われることとして一提案です。「あなたと博物館」を双方向的なメディアとしていただけると良いのではと感じています。企画展や行事に参加した人たちの声(感想文)や座談会なども掲載されていくとこれからの展示や行事の一方的な案内だけではない「地域博物館の魅力」をより発揮できるのではないかと感じております。(先行例として国立市公民館の公民館だよりなどが参考になります)当面は今後とも大学教員としてまた学生とともに地域博物館活動に参加して行きたいと思います！50 周年おめでとうございます！
- ・今でも図録の充実は素晴らしと思うがこれからも紙媒体の資料は作ってほしい
- ・これからも当初の理念の上で活動を発展させて下さい。
- ・平塚を離れて 10 年以上経ちますが、毎回特別展には必ず来館しています。常設展・特別展とか楽しみにしています。
- ・開設の原点である市民生活全体を資料収集と調査し、次世代に伝える地域博物館としての役割を継続して欲しい。そのためには市民が何をすべきかを討議する場が必要と考える。博物館活動によって人のつながり、地域活動が芽生えるなどの波及効果をもっと知りたい。(地域博物館の評価にかかわるから)
- ・展示を見にくる場としてだけでなく、自発的な学習の場として一層の飛躍を祈ります。設立計画段階から未来・市民志向だったのが、かつ総合的なアプローチなのが素晴らしいです。
- ・博物館への協力者を育てる視点からも子どもの博物館活動が活発になることが必要と考えています。そのためにも博物館と学校教育が有機的に連携することに意義があると思います。本日はありがとうございました。
- ・石仏等地域の文化財保護について御期待申します。

アンケートの結果

回収枚数 31枚

回答者の住所 平塚市内 13 人、県内平塚市外 8 人、神奈川県外関東地方 9 人、関東地方以外 1 人
(n=31)

回答者性別 男 17 名、女 13 名、無回答 1 名
(n=31)

回答者年齢	～19 歳	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上
(n=31)	1 名	5 名	1 名	5 名	9 名	3 名	5 名	2 名

問 今までで、とくに印象に残る博物館の展示や行事、プラネタリウム番組などがありましたら思い出をお書きください。

- ・夏期特別展「相模国府とその世界」平成 10 年 7 月 18 日(土)～8 月 30 日(日)実施の見学時および平成 21 年度春期特別展検証相模国府古代都市復元への挑戦～平成 22 年 3 月 20 日(土)～5 月 9 日(日)実施の見学時の際に展示古代資料として「縁釉陶器」や「須恵器」の生産地の推定値のデータ表示の研究性の高さには大変驚きの念を抱いた気概が残っています。
- ・現在行われている特別展は、とても興味深く見学させていただきました。また、戦争の展示では空襲の位置を赤いシールで示されており、資料とともに見ることで想像をかき立てられ、よりリアルに当時の様子を考えることができました。
- ・実習生によるもの、地元商店街とタイアップしたもの。
- ・いつも確かな調査研究に裏打ちされた興味深い企画をありがとうございます。
- ・まだ 2 回しかこれてないが、特別展か講演会があったらきたい(前回は丹沢の石についての特別展)
- ・50 周年記念展が印象深かった、市民の博物館とかかわる市民の活動が深く理解できた。
- ・平塚空襲、宮沢賢治 プラネタリウム
- ・祭、平塚の道、地層
- ・昨日のアンケートと同様のためそちらを確認下さい。本日の講演中にありました 2F の常設展の漂着物を拾う会に関する展示、昨日はもう 20 年展示が替えられていないとのことでしたが、あらためてこの展示は重要なのだなと思いました。今後ともこうした市民とともに創り出した展示は大切に展示して欲しいなと思いました。

- ・宮沢賢治の特別展示
- ・プラネタリウムでいやされてます。
- ・砂浜に流れ着いたものの展示が印象的でした。この展示を観ることで環境保全への意識が生まれたり、海岸を利用するうえでの自身の行動を見つめ直すきっかけになったりするのではないかと思います。
- ・数々の遺跡発掘調査結果
- ・金目の近世史 自由民権運動がその後の平塚のまちづくりにも大きな影響があったことを知ることが出来たから
- ・今回の特別展
- ・金目川、だるま など
- ・今開催中の 50 周年記念展、私は関西の県立博物館の学芸員で、準備室の時に視察に来させていただきました。(1993 年ごろ?)うちの館を作るとき目ざしたもの一部のルーツが平塚にあったと思いました。浜口さんに直接お話を伺った色々は、経験(学芸員として)を積み重ねるほど、実感が増してきて、30 年以上前のことですが大変深く記憶に残っています。

問 これからの博物館へ期待することをお書きください。

- ・将来的な博物館の運営や資料の公開には設置される機材(媒体を中心とする視聴覚教育を対象とするもの)の必要性が徐々に高まって来ると考えられます。近年も AI(人工知能)の使用・活用が多方面で叫ばれている世論ですが、正統な方法・手段での AI 関係機材の活用も近未来に向けての姿勢も必要ではないかと考えられます。
- ・ネットでカンタンに情報が手に入ってしまう今だからこそ、実物を見るということに大きな意味があると感じます。
- ・地域の自然、歴史の特色ある資料を未来にきちんと残す役割を期待します。50 年たって建物のいたみもかなりなのではないかと思います。平塚市には博物館の改修等しっかり行ってほしいと思います。
- ・これからも変わらず市民とともに活動が行われ、地域に根ざした博物館であってほしいと思うとともに、そういった博物館が増えてほしいという風に感じます。
- ・相模原市博と平塚市博の影響が設立時からあったことは初めて知った。地域に開かれた博物館であることは間違いなく素晴らしいと思う。しかし学校団体に対する受け入れ体制には疑問を持つ。展示解説ボランティアに丸投げしているやり方は良いのか?持続性や伝え方、教え方のブラッシュアップは館の責任であろう。改善を期待したい。
- ・これからも地域博物館の第一線として活動に期待しています。平博の活動は、おそらく世界規模で例がないのではと本日の浜田氏のお話を伺って思いました。学芸員の皆様のモチベーションが博物館活動の源泉ですので、自治体として学芸員に対する理解が失われないよう市民として意識を持ち続けたいと思います。

- ・今後共市民の学びの場のよき提供の場としての博物館活動、高齢者の生きがい提供にもつながっており、今後共よろしくお願い致します。有難うございました。祝 50 周年！
- ・「直営」の形をずっと！、新しいサークル・行事の創出(できれば人気のありそうな？石仏調査のような長く地道な活動が生まれてほしいです。)、ex 今でも行われていると思いますが親子で参加？：平塚の鳥と虫(季節ごと)、「日本野鳥の会」「日本チョウ類保全協会」などの組織ともつながるような活動で広がりが見られるといいなと思います。昔の子どものゲーム(缶けりなども？)、大人やオタク？向け：平塚の中世(お城や武士たち)、他館・公民館などとのコラボ？：平塚の歴史と彫刻(仏像・神像・肖像彫刻や近現代アート彫刻の調査)、館内各分野のコラボ活動？：民俗＋地質／考古＋地質で石材調査・分析など、館外からの講師による講座も？：他市町村の専門家、社会教育課など、講師体制のために人脈づくりも？
- ・50 年以上たち、博物館の建物も文化財としての価値が生まれたと思います。国登録有形文化財への登録を目指してはどうでしょう？
- ・民俗芸能の収集・保護活動に(特に文楽、国の文化遺産登録を目指し進められている)尽力してほしい。
- ・ワークショップの充実(さらなる)
- ・平塚の縄文・弥生の時代、平塚の平安、鎌倉時代、平塚の江戸時代、平塚の自治会館のお宝を探す、平塚の民間フェスティバル、再現 江戸時代の平塚宿、相模川・金目川の野生動物、日産車体の歴史
- ・昨日のアンケートと同様のため、そちらを確認下さい。2 日間ありがとうございました。今後とも興味のあ
るワーキンググループには参画したいと思っています！今後ともよろしくお願いします。
- ・あらためてすごい博物館なんですね これからもがんばってください
- ・2026 年以降の地域博物館のモデルになっていただきたいです
- ・100 周年、150 周年とこれからも市民に愛される博物館であってほしいと感じました。私は市民ではないですが、平塚博物館の展示が好きで企画展も楽しみにしているので、ぜひリピートしたいと思います。
- ・展示室と講堂の拡充をお願いしたい。文化都市平塚を目指して！！
- ・平塚市内小学校で校長職にある者です。学級担当時代は博物館特別展資料を教材研究で使わせていただき、授業で活用していました。平塚市博物館設立のコンセプトであるフィールドを市外に設定した概念は、学校運営の参考として拝聴致しました。(細分化された専門性のみならず、包括的概念を明確化し価値付することなど)博物館は私個人の人生の愉しみとともに、公職上の影響も大いにあります。最後のお話にもあったように、学校教育はやはり閉鎖空間の中に置かれていることを感じています。打破できる道筋を考えていくヒントを少しいただきました。
- ・地域博物館のモデルとなっている平塚博物館、継続していく上でも博物館運営委員会を拡充していくことも必要、平塚特色である小中学生向けのアプローチは更なる担い手を育成する上で欠かせない(学校教育の現状から難しいのか？)
- ・地域に愛される博物館であってほしいと思う。

・これからも、平塚市博が打ち立てた「地域博物館」を維持していきましょう(うちの館は少し方向が変わってきています)

開館 50 周年記念 博物館こどもフェスタ 2026 開催結果報告

開催日時：2026 年 4 月 25 日（土）・26（日） 午前 9 時～午後 4 時 30 分

今年度も 2 日間にわたって開催した。今年度も自由参加型行事を中心としたプログラムで実施した。

1. イベント参加者数

イベント名	開催時間	参加	会 場	担当	参加者 (大人)	参加者 (小人)	協力 者	総計
25 日								
博物館ぶたいうら たんけんツアー	①9:30～ ②13:00～	事前 申込	館内	早田 澤村	①4 ②5	①3 ②5	0	17
プラネタリウム こどもフェスタ スペシャル	①11:00～ ②14:00～ ③15:30～	当日 整理券	プラネタリウム	塚田	①23 ②17 ③12	①25 ②10 ③11	3	100
はくぶつかんクイズ	①10:00～11:30 ②13:00～14:30	自由	館内	川端	(こども のみカウント)	38	8	46
昔の民具体験	10:00～11:30	自由	屋外展示 場	福田	17	17	5	39
古生物ペーパークラフト づくり	10:00～12:00 13:00～16:00	自由	講堂	野崎	39	44	1	84
おはやし演奏と体験	14:00～15:00	自由	中庭	福田	17	12	12	41
ろばたばなし	15:15～15:45	自由	相模の家	福田	5	0	5	10
小 計					129	165	34	328
26 日								
博物館ぶたいうら たんけんツアー	①9:30～ ②13:00～	事前 申込	館内	川端	①5 ②6	①7 ②8	0	26
プラネタリウム こどもフェスタスペシャ ル	①11:00～ ②14:00～ ③15:30～	当日 整理券	プラネタリウム	塚田	①34 ②36 ③39	①36 ②35 ③32	4	216
はくぶつかんクイズ	①10:00～11:30 ②13:00～14:30	自由	館内	川端	(こども のみカウント)	99	9	108
鳥かおパズルでクイズ	①10:00～12:00 ②13:00～16:00	自由	講堂	松本	①43 ②32	①46 ②38	1	160
火起こし体験	9:30～11:00	自由	屋外展示 場	新宮 川端	(こども のみカウント)	120	9	129
水ロケットを打ち上げよ う	10:00～15:00	自由	屋上	藤井	165	176	4	345
太陽黒点を見よう	10:00～15:00	自由	屋上	藤井	165	176	1	342
古代生活体験	13:00～16:00	自由	科学教室	新宮	(こども のみカウント)	50	8	58
小 計					525	823	36	1,384
総 計					654	988	70	1,712
(令和 7 年度総計)					649	963	85	1,697

2. アンケート集計結果

◎大人用アンケート （回答数 16）

1) イベントをどこで知ったか（選択）

広報ひらつか	4 人
博物館 HP	2 人
「あなたと博物館」	2 人
口コミ	0 人
市公式 LINE	2 人
博物館 twitter	0 人
その他	3 人

2) 参加したお子さんの学年・年齢

未就学児		6 人
幼稚園児		4 人
小学校	1 年	0 人
	2 年	2 人
	3 年	2 人
	4 年	3 人
	5 年	1 人
	6 年	0 人
合計		18 人

3) 参加したきっかけ（選択）

子供が参加したいといった	7 人
大人（親）が参加させたいと思った	7 人
その他	2 人

4) 参加しやすい形態（選択）

事前申込制	5 人	当日整理券・自由参加制	8 人
-------	-----	-------------	-----

5) 4での回答の理由

事前申込制

- ・当日整理券の配布時間が開館よりも早く一度帰宅する必要があるため
- ・遠方からのので、朝から並ぶとなると前日泊必須はハードルが高い。
- ・子どもが幼いので、時間通り動けないため。
- ・整理券は朝来ないと不安だから一度来て帰る必要がある

当日整理券・自由参加制

- ・事前に予定がわからないこともあるので
- ・当日の予定が事前に確定しにくい
- ・事前だと申し込んで来ない時に席が余るため
- ・子どもが行きたがらないことがあるから
- ・気軽に行きやすいからです
- ・当日の予定が直前までわからないため。
- ・家が近いから

その他

- ・人数が少ないものは事前が良い。そうでなければ当日の方がいろいろできて良い。

6) 感想

- ・大人になると学生時代の学びなおしがしたいなァと思うことがあります。子供と参加できるイベントは親子ともにたのしめるので、とてもありがたいです！！楽しかった。気軽に入館しやすい。
- ・イベントで子供が楽しめるようにしてもらって良かったです。外に食事ができるものを用意してもらえるとさらに助かります。
- ・火起こし体験うでが疲れました。お疲れさまでした。
- ・いつも博物館のイベント行かせていただいています。楽しいです。
- ・プラネタリウムの時間が30分と子どもの集中力が切れる前だったので良かった。
- ・充実していて、身近に感じられよかったです。
- ・楽しいイベントでした。製作などイベントが増えるとうれしいです。
- ・プラネタリウム、火おこし、ロケット、太陽の黒点、など普段体験できないことをいろいろできてとても楽しかったです。

◎こども用アンケート (回答数 32)

1) 学年・年齢

未就学児		0人
幼稚園児		6人
小学校	1年	1人
	2年	3人
	3年	3人
	4年	6人
	5年	1人
	6年	3人
合計		23人

2) 難易度 (選択)

簡単 4人 ふつう 14人 むずかしい 2人

3) 参加して楽しかったイベント (選択)

プラネタリウム	15
はくぶつかんクイズ	10
古生物ペーパークラフト	7
ぶたいうらツアー	3
おはやし演奏と体験	1

火起こし体験	12
鳥かおパズル	9
古代生活体験	5
昔のこども遊び	2
ろばたばなし	0

4) 今後体験してみたいこと

- ・動物の骨かくについて学びたい。
- ・かがく
- ・はくくつして見たいです。
- ・ペーパークラフトやクイズをまたしてみたい
- ・世かいのいろいろな石を見たい。
- ・どきづくり、みんぐ、かせき、いきもの、すもう、おまつり、こうせき
- ・石をツルハシではくくつしてみたいです。バードウォッチングなどかんさつけい
- ・プラネタリウムをいっぱいいきたい。
- ・ひおこしたいけん
- ・クイズ、とりをみれる
- ・弓のたいけんをしたいです。・オーロラがどうやってできるのかじっけんしたいです。できれば
プラネタリウムで海王せいかめいおうせいのとくしゅうをしてほしいです。
- ・たのしかた
- ・ないです
- ・ひおこしたいけん
- ・とくにない
- ・とくになし
- ・火おこし
- ・ない
- ・生きている動物を見たかった。

令和8年度
2026

平塚市博物館 普及事業予定概要

令和8年(2026)7月20日現在

展 示

年内開催の特別展は、開館50周年記念特別展として開催。夏期特別展「コツコツ～博物館にあるいろんな骨のこと～」は、生物・地質・考古・民俗の4分野合同特別展で、資料を多角的な視点で紹介しします。秋期特別展では、東京国立博物館が所蔵する真土大塚山古墳出土の「三角縁神獣鏡」など市外にある平塚市ゆかりの考古資料を借用し展示します。「第26回博物館文化祭」では、博物館で活動するワーキンググループの活動成果を展示発表します。春期特別展では、相模湾に面する平塚の漁業を民俗学から紹介します。
1階寄贈品コーナーでは「ひらはく50年」関連展示など概ね1～2カ月おきに、各分野のテーマ展を開催します。2階情報コーナーでは特別展のダイジェスト展や博物館学芸員実習生による実習展示などを開催します。

特別展	春期特別展「ひらはく50年 市民と歩む地域博物館」(総合)	2026	3月 20日	～	5月 17日
	夏期特別展「コツコツ～博物館にあるいろんな骨のこと～」(生物・地質・考古・民俗合同)		7月 18日	～	9月 23日
	秋期特別展「名品たちの里帰り-平塚ゆかりの考古資料-」(考古)		10月 24日	～	12月 27日
	第26回博物館文化祭 ワーキンググループ展示・活動報告会・実演	2027	1月 30日	～	2月 23日
	春期特別展「(仮)平塚の海と生きる」(民俗)		3月 20日	～	5月 16日
寄贈品 コーナー	全分野 新着資料展	2026	2月 28日	～	4月 5日
	写真で振り返るひらはく50年		4月 11日	～	5月 31日
	平塚空襲展		6月 13日	～	8月 16日
	民俗分野		8月 22日	～	9月 27日
	地質分野		10月 3日	～	12月 2日
	生物分野		12月 8日	～	1月 24日
	(仮)没後30年 日野一郎展(考古)	2027	1月 30日	～	3月 28日
情報 コーナー	ミニ文化祭「平塚江南高校スーパーサイエンスハイスクール成果発表展」		3月 5日	～	4月 19日
	東日本大震災の記憶-東北の被害と復興-		4月 25日	～	5月 31日
	ポスト特別展「ひらはく50年 市民と歩む地域博物館」		6月 13日	～	7月 26日
	ひらつか六鬼夜行-平塚にまつわる不思議な話-		8月 1日	～	8月 30日
	博物館実習生による実習展示		9月 11日	～	9月 29日
	平塚江南高校スーパーサイエンスハイスクール成果発表展2026		10月 3日	～	11月 15日
	人と星を繋ぐ場所 ～日本の公開天文台100年		11月 21日	～	終期 未定

プラネタリウム

プラネタリウムの一般投影は、毎週土・日曜日と、春・夏・冬休み期間中の水・木曜日に、1日2回、70名の定員で実施します。一般投影では、開館50周年記念として、過去に投影したプログラムのリバイバル投影を実施します。特別投影等も実施する予定です。また、幼児団体投影・学習投影は予約制で水・木・金曜日の午前に実施します。

一般投影	一般向け投影 火星探査機が見た景色	2026	2月 7日	～	4月 5日
	一般向け投影 思い出のハレー彗星		4月 11日	～	5月 31日
	一般向け投影 開館50周年記念 あの番組をもう一度		6月 13日	～	7月 12日
	一般向け投影 Vtuber星見まどかと旅する 水金地火木土天海		7月 18日	～	9月 27日
	一般向け投影 天体望遠鏡を使いこなせ！～選び方・使い方のキホン～		10月 3日	～	11月 29日
	一般向け投影 2027年の天文現象		12月 5日	～	1月 31日
	一般向け投影 夜空を持ち帰ろう～初めての天体写真～		2月 6日	～	4月 4日
	幼児向け投影 サンとムーン2 まいごのおほしさま	2026	1月 10日	～	4月 4日
	幼児向け投影 お星さまだいすき！サンとムーン		4月 11日	～	5月 30日
	幼児向け投影 どうぶつロケット 宇宙をうたっちゃおう♪		6月 13日	～	8月 29日
	幼児向け投影 宇宙船レオの大冒険		9月 5日	～	11月 28日
	幼児向け投影 タケルくん、ひるとよるはどうしてあるの？		12月 5日	～	2月 27日
	幼児向け投影 ヤドカリくん まんげつのひみつきち		3月 6日	～	5月 29日
特別投影	星空散歩 (全6回、偶数月、月初の土または日、)				
	「ひらはくオールスターズ」(3・または4回)				

	星空タイムトラベル	
	星空音楽館（全4回）	
コンサート	プラネタリウム・コンサート	未定

各種普及行事

申込制 行事	考古	体験学習「昔の方法で火を起こそう」
		体験学習「カラフルな勾玉をつくろう」
	民俗	石仏めぐり
		体験学習「お飾りをつくろう」
	地質	地質学最新研究講座
		自然観察入門講座「相模川流域ジオツアー入門」(4回)
		体験学習「化石レプリカをつくろう」
	生物	自然教室（6回）
		体験学習「手羽先骨格標本をつくろう」
		キノコの観察会
	天文	星を見る会（10回）
		最新天文学講座（2回）
	総合	こどもフェスタ
		平塚学講座
自由参加	歴史	郷土史入門講座（6回講座）
	考古	考古学入門講座（2or3回）
	民俗	ろばたばなし
		学芸員が語る「相模の家のくらし」
	地質	地球科学入門講座
		化石ペーパークラフトをつくろう
	天文	天文学入門講座「太陽系の惑星たち」全8回 体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」(回)

会員制 行事	考古	平塚の古代を学ぶ会	毎月1回水曜日
		古代生活実験室	毎月1回木曜日
		東国史跡踏査団	不定期実施
	歴史	古文書講読会	毎週金曜日
		裏打ちの会	毎月1回水曜日
		平塚の空襲と戦災を記録する会	毎月1回土曜日
		地域史研究ゼミ	毎月1回土曜日
	民俗	石仏を調べる会	毎月第二第四木曜日
		民俗探訪会	毎月第三水曜日
		祭りばやし研究会	毎月1回土曜日
		聞き書きの会	毎月第二火曜日
	地質	地球科学野外ゼミ（野外6回、室内5回）	毎月1回__土or日曜日
	生物	生き物ズームプロジェクト	毎月1回日曜日
	天文	天体観察会	毎月1～2回土・日曜日
		流星観察会	毎月1～2回土・日曜日
	総合	展示解説ボランティアの会	定例会、毎月1・3木曜日

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館(予定)	2026 6月 2日 ～ 6月 12日
博物館実習	2026 9月 2日 ～ 9月 10日